

1 日程 12:45～14:25（100分）

	12:45～	12:47～	12:57～	13:45～	14:05～14:25
時間	2分	10分	48分	20分	20分
内容	指導助言者紹介（2分）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東先生 ・ 谷口先生 授業者ふりかえり5分×2名 （質問に関する回答も）	視点① ・ 主体的な学びや対話的な学びの過程を通して、自己の運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びが生まれているか？ 視点② ・ 深い学びを促すような、効果的な学習資料となっているか？	全体協議 「体づくり運動の学習を通して考える『主体的・対話的で深い学び』を促す体育授業の在り方」	指導助言 10分×2名 ・ 宮内 孝先生 ・ 村中田 博先生
授業者助言者	着席	着席	周回	着席	着席

2 授業参観の視点

<p>授業Ⅰ（体づくり5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びや対話的な学びの過程を通して、自己の運動についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びが生まれているか？ ・ 深い学びを促すような、効果的な学習資料となっているか？ <p>授業Ⅱ（保健 5年）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 主体的な学びや対話的な学びの過程を通して、自己の健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びが生まれているか？ ・ 深い学びを促すような、効果的な学習資料となっているか？
--

3 付箋の活用

① 下記を参考に付箋に書き込む。

授業中、記入次第、拡大指導案へ

午後の研究会で授業者感想後に自分の記入したものを取ってもらい、グループ協議に活用する。

質問したい
疑問に思った
（黄）

良かった
成果
（青）

課題
協議したい
（赤）

② 付箋は、研究授業中、授業後、体育館後方の拡大指導案に貼る。

※授業者にも活用する。

参加者が話して気付く、貼られていることを読んで気付く。参加者の学びにつなげる。

③ 付箋はグループ協の際にも使う。

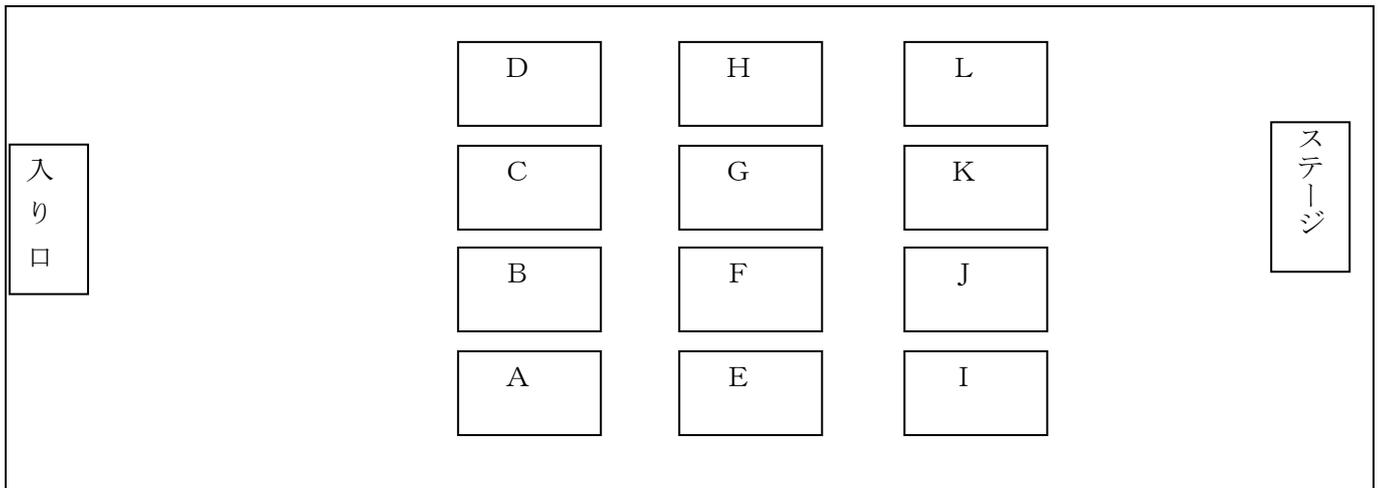
4 グループ協議の進め方

自己紹介2分 流れ確認3分 ①体づくり5年（20分） ②保健 5年（20分）

① 保健 5年（20分） ②体づくり5年（20分）

- ① グループごとに座り、簡単に自己紹介をする。(勤務校、名前、一言)
※ 各グループの司会は宮崎・東諸県地区小体連から。
- ② 協議用紙(A2の用紙2枚×12:視点、成果、課題の3つの項目)の視点1から成果と課題についてふせんを貼りながら、意見を出し合っていく。話し合いながら、同じキーワード・カテゴリーで分ける。
- ③ グループ協議では、柱1・2の順に話し合う。
- ④ 質疑応答は、協議の最中に授業者・指導助言者がテーブルを周っている際に随時行う。
A～Fは先に「体づくり運動5年」、G～Lは「保健 5年」について話し合う。
- ⑤ **全体会では最初に、他のグループを見て回る時間を5分位とる。**
グループ協議で話し合ったことをもとに、視点に沿って「体づくり運動の学習を通して考える『主体的・対話的で深い学び』を促す体育授業の在り方」について、話し合う。
- ⑥ 最後に指導助言をしていただく。
- ⑦ グループ協議後にグループで話し合った視点1と視点2は、研究協議後に写真撮影する。

5 会場図



授業研究会 会次第

- 一、 指導助言者紹介
- 二、 協議方法説明
- 三、 授業者ふりかえり
 - ・ 東 貴秋 先生
 - ・ 谷口 晋 先生
- 四、 グループ協議 質疑応答
 - 授業Ⅰ
 - ・ 主体的な学びや対話的な学びの過程を通して、自己の運動についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びが生まれているか?
 - ・ 深い学びを促すような、効果的な学習資料となっているか?
 - 授業Ⅱ
 - ・ 主体的な学びや対話的な学びの過程を通して、自己の健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びが生まれているか?
 - ・ 深い学びを促すような、効果的な学習資料となっているか?
- 五、 全体協議

「体づくり運動の学習を通して考える『主体的・対話的で深い学び』を促す体育授業の在り方」
- 六、 指導助言
 - ・ 宮内 孝 先生
 - ・ 村中田 博 先生